



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2020-2021

会報

上げよう奉仕の輪



2020.07.8 第1356回例会 No.31-02 2020.07.15 発行

- ◎司会 SAA・親睦委員 菊池 敏
- ◎開会点鐘 会長 峯岸 忠
- ◎ロータリーソング「それでこそロータリー」 演奏

- ◎お客様紹介 会長 峯岸 忠
- 東京多摩ロータリークラブ
会長 飯島 文彦様・幹事 堀木 康弘様
- 東京稲城ロータリークラブ
会長 城所 達也様・幹事 川島 保之様

- ◎お客様ご挨拶 会長 飯島様・幹事 堀木様



RCは今年10周年を迎えました
東京稲城ロータリークラブ



式典の実行委員会を立ち明ける予定です。

- ◎会務報告 会長 峯岸 忠
- ① 上半期会費請求署の名義について、銀行の方針変更により、今期より、会長名義となります。振り込みの際はご注意ください。
- ② 地区より、九州南部豪雨災害義捐金の寄付の要請がありましたので、ご協力をお願いいたします。
- ③ 事務局のコピー機の買い替え承認をしました。
- ④ 例会プログラムは当面、「会員に依る卓話」、「新型コロナウイルス感染症」に関するものを中心とする方針をプログラム委員会協議決定いたしました。
- ⑤ 今後、新型コロナウイルス感染症の第2波が到来した場合は例会での食事の有無や休会等を決断しなければならぬ場合も御座いますが予めご承知おきください。



- ◎幹事報告 幹事 守田 亨

- ★配布物
 - ・新入会員候補のお知らせ 異議のある方は7月14日(火)までに文書にてお申し出ください。
 - ・ロータリーの友 7月号
 - ・2020-2年度ハンドブック
 - ・田村会員卓話レジメ
- ★回覧物
 - ・ロータリー囲碁同好会より大会のご案内
 - ・青少年奉仕委員会ガイドブック
 - ・フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN マガジン2020 vol.5
- ★令和2年北九州南部豪雨災害義捐金箱
- ★他クラブ例会変更一お問い合わせは事務局まで



【 委員会報告 】

◎各委員会報告

クラブ協議会：各委員会活動計画発表

※会員増強委員会 副委員長 吉沢 洋景

地域の志ある人にロータリークラブの存在意義、ロータリアンとの親睦の楽しさ等をおたえし、奉仕活動を通じて、共に地域発展に貢献できるよう入会を促していく。

※ロタフェロー委員会 委員長 徳原 透

ロタフェローの活動が地域のみならず、広く一般の人に知れ渡るよう、継続的に広報を行う。

◎出席報告 出席奨励委員会 田崎 博実

会員総数	29名
出席義務免除者	8名
出席者数	21名
出席義務者	21名
出席免除者	8名
計	29名

出席率 21/29 = 72.41 %

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員 大槻 一夫

峯岸 忠 東京多摩RC会長飯島様・幹事堀木様、東京稲城RC会長城所様・幹事川島様宜しくお祈いします。遠藤二郎会員、林田葵さん、お誕生日おめでとうございします。

田村さん卓話宜しくお祈いします。

守田 亨 東京多摩RC飯島会長様・堀木幹事様、東京稲城RC城所会長様・川島幹事様、本日は誠に有難うございします。

飯島文彦様 峯岸忠年度の門出をお祈い申し上げます。今年度もよろしくお祈いします。

遠藤 二郎 東京多摩RC会長飯島様・幹事堀木様、東京稲城RC会長城所様・幹事川島様、ようこそ。田村さん卓話宜しく。

菊池 敏 多摩RC会長・幹事、稲城RC会長・幹事ようこそ。今年もよろしく！

大松 誠二 多摩・稲城 両クラブのみなさまようこそ

林田 敏誠 お客様ようこそ

初野 有人 東京多摩RC、東京稲城RC 会長・幹事様、ようこそいらっしやいました。

伊澤ケイ子 お客様ようこそ！

田崎 博実 田村さん卓話たのしみです。

杉山 真一 お客様ようこそ。田村さん卓話お祈い致します。

関岡 俊二 田村先生卓話楽しみにしています。

入沢 修自 お客様ようこそお越し頂きました。田村先生の卓話気になるテーマです。

足立潤三郎 お客様ようこそお越し頂きました。

田村会員の卓話興味有ります。

伊藤 綾乃 お客様ようこそ。田村先生、お話楽しみにしています。

堤 香苗 田村先生たくわよろしくよろしくお祈いします！

大槻 一夫 お客様ようこそいらっしやいました。

本日の合計¥31,000 (累計¥81,000)

◎卓話者紹介 プログラム委員長 伊藤 綾乃

◎会員卓話 田村 豊 会員

「新型コロナウイルス感染症」に関して

新型コロナウイルス感染症には、若者の場合は 軽症か



無症状で終わるのに対し、高齢者の場合は 重症化して死亡リスクが高まるという特徴があります。50歳未満の死亡率は0に近いのに対し、70歳以上は1割近くが死亡すると

いう大きな差があります。

しかしながら、それでも日本人の新型コロナウイルスの感染数における死亡数は、欧米に比べて 桁違いに少ないのが特徴です。

大きな理由の 1つ は、日本人の自然免疫が強く、新型コロナウイルスに感染してもこの段階で退治される と考えられることです。この場合、感染しても抗体を残しません。自然免疫で防ぎきれず、獲得免疫、すなわち抗体が出来て感染を防ぐレベルに達すると、一部が重症化します。これは、新型コロナウイルスの毒性よりも免疫反応が暴走することによって起こり、この 状態 をサイトカインストームといいます。サイトカインストームには、プレボテラ菌という腸内常在菌が関係するといわれています。

プレボテラ菌は、小児ではほとんどなく、年齢が上がるにつれて多くなります。そして、日本人より欧米人に多いといわれています。

これは重症例が高齢者に多いこと、欧米に比べて日本人の死亡者数が少ないことと一致しています。

これらは、まだ仮説の段階ですが、将来実証されれば、現在のような社会活動の停止を伴う封じ込めによらなくても、新型コロナウイルスと共生できる社会になる可能性があります。

◎閉会点鐘

会長 峯岸 忠

(今週の会報担当 遠藤二郎)

